

令和5（2025）年 3月3日（月）発行
赤磐市桜が丘東 6-6-704
さくらが丘保育園

『一年を振り返って』

寒い冬を超え、「啓蟄」のころがやってきました。「啓蟄とは、冬ごもりをしていた虫たちが春の気配を感じて土の中からでてくるころ」のことです。耳慣れない言葉ですが、「春の季語」として使われます。

さて、令和6年度も残すところ一か月足らずとなりました。先日実施いたしました施設評価アンケートについては保護者の皆様からの温かいお言葉とご意見の方もたくさんいただきました。結果と回答については改めてお知らせいたします。

アンケートを受け、今年度、園運営目標である『協同と共感の保育』の実現に近づけたかという疑問が残ります。特に、「協同」という面で園からの積極的な働きかけが少なかったことによるご意見が多々みられました。こどもを真ん中に保護者と保育者が手をつないで子育てができるように工夫を凝らしていくという努力が足りなかったことを反省いたします。また、ペーパーレス化を進め、園からの発信が届きにくくなっていないか懸念いたします。個々に必要な情報のみ収集する傾向にある時代の流れの中で、いかにしてより多くの保護者に保育を伝えていくか、そのための媒体は何かを改めて検討していく必要性を感じています。

2年前よりお伝えしていますが、予定通り進めば、来年度中に園舎の建替え工事が行われます。そうなった場合は、より保護者の皆様と協同して保育運営を行わなくてはなりません。決まり次第お伝えいたしますのでよろしくお願いいたします。

お知らせ

○卒園旅行【3月6日（木）】

3月6日（木）にバスで、後樂園・岡山城とサイピアに行きます。
どんなお楽しみがあるかな？どんな出会いがあるかな？
保育園生活を共に過ごした仲間と、思い出を作ります。

○卒園式【3月21日（金）】

そら組のこどもたちの晴れの舞台です。胸を張って、自信に満ち溢れた姿が見られるのを楽しみにしています。

○自由登園【3月29日（土）～3月31日（月）】

進級に向けての準備を行いますので、ご都合の付く方は、家庭保育にご協力ください。



今月の
ベストショット



すずらんより



耳の日



「3」が耳の形に似ていることから3月3日は耳の日とされています。

こどもは耳の病気にかかりやすいので、日頃からこども達の様子をよく観察しましょう。

こんな症状があれば 耳鼻科に相談しましょう

- 向かい合って話をすると通じるが、背後から声をかけると返事をしない。
- テレビの音量を大きくしたり、近づいたりして見る。
- 会話をしている時に、何度も聞き返す。
- よく耳を触っている。



1年間、健康に過ごせましたか？

家族みんなで1年間を振り返ってチェックしてみてください。

チェックのできなかつた項目は4月からの目標にしてみましょう。

- 早寝早起きができた
- 朝ご飯を毎日食べた
- 好き嫌いをせずに何でも食べた
- 食後に歯みがきをした
- 毎朝、うんちをした
- 外でたくさん遊んだ
- 外から帰ったら手洗い・うがいをした



私の好きな絵本

『あったとさ あったとさ
ひろーい のっぱら どまんなか
きよだいな ○○が あったとさ』

絵本の中でこどもたちが、きよだいなトイレットペーパーでお尻をふいたり、ピアノの上で追いかけてごっこをしたり、楽しそうな姿がたくさん出てきます。思いっきり遊んで、ちょっとビンの中で休んだ後は、きよだいな扇風機の風に乗って、こどもたちが向かった先は…？

こんな世界があったら、どんなだろう？と想像するだけで楽しくなります。

雁 倫子



『クラスで今！ブームのあそび① にじ組』

椅子取りゲームを繰り返し楽しんでいきます。だんだんとコツをつかんできたこともあり、真剣な眼差しで椅子を見つめ、座る準備をしながら歩いています。座れないと悔しくて涙が出てしまう事もありますが、もう1回と気持ちを切り替えて参加しています。



『クラスで今！ブームのあそび② はな組』

つながりあそびを楽しんでいます。「貨物列車シュッシュュ〜♪」と保育者が歌うと近くの友だちの肩に手をおいて、にっこり。その様子を見ていた周りの子たちも、僕も、私もと、同じようにつながり、自然と列ができています。友だちや保育者と繋がる事が楽しくて、いい笑顔。とても微笑ましいです。



～集団あそび紹介～ 『いす取りゲーム』

1. 参加人数より1つ以上少ない数のイスを、背もたれを内側にして円を描くようにして並べておきます。
2. こどもたちはイスの周りに円を描くように並び、音楽に合わせて歩きます。
3. 音楽が止まったら、それを合図に自分の近くにあるイスに素早く座ります。イスに座れなかった子は抜けます。(同時に座った場合は、じゃんけん等で決めましょう)
4. イスの数を残った人数より1つ以上減らして並べ直したら、再スタート。音楽に合わせて歩きます。抜けた子は外側で見守り、残った友だちの応援団になります。
5. 音楽が止まったら素早くイスに座って、座れなかった子が抜ける、という流れをイスが1つになるまで繰り返します。
6. 最後の1つに座ることができた子が優勝です！





花は咲く



写真は、つき組の時のお花見の一場面です。

卒園式は、園を巣立っていく子どもたちが主役です。今そら組は卒園に向けて、ホールステージに立ってうたを歌ったり卒園製作を作ったりしています。

いろいろな個性を大切にすることがゆえに、集団としてのまとまりを求めるには厳しい一面もあり、自由奔放にほったらかしにしているとみられることもありました。

卒園式を前に今、それぞれの個性を活かしながら園全体のことについて「働く」そら組の姿があります。また、式で歌う歌をみんなで気持ちを込めて歌っている姿を見ていると成長したなと胸があつく想いがこみ上げることもあります。3年間、子どもたちと笑い、涙を流した日々。本当に大きくなりました。

そら組 土屋 勇気



グループでの活動や話し合いや決め事をするこ
とも増やしています。

話し合いの際に、初めの頃は、自分の意見だけを
言い続けたり、個々の意見が食い違ったりしていま
した。思うようにならず怒ることもありました。し
かし、それでは話し合いが進まないことに気づき、
保育者が間に入らなくても、意見を譲り合ったり妥
協案を探したりする姿も見られるようになってき
ました。

製作の時に、使う材料をグループの仲間で一緒に
受け取りに来ています。グループごとに声を掛けて
も、グループの人みんなで取りに行くのではなく、
自分の好きな時に一人で取りに来ていましたが、今
ではグループ名を呼ばれると「は〜い！」と嬉しそ
うに取りに来たり「呼ばれたよ」と友だちに知らせ
たりする姿がみられます。

大きくなっているなと強く感じるとともに、自分
はグループの一員なんだという意識がついてきて
いるように感じ、嬉しく思いました。

ほし組 下山 静菜



いちばんぼし





この一年、自分の思いを通したくて、友だちと喧嘩になることもよくありました。しかし、今では「どうする?」「じゃあこれ終わったらそれね」などと、こどもたち同士で相談しながら順番を決めたり、「先に使ってもいいよ」と玩具を譲るなど、自分の思いだけでなく、友だちの気持ちも少しずつ受け止められるようになってきています。

また、保育者のしていることをよく見ており「机拭きたい」「ゴザやる」と、自分からお手伝いをしています。こどもたちの気付くスピードの早さに驚くと共に、周りを気にすることのできる優しい心に、身体だけでなく、心も大きくなったなあと感じ、日々助けられています。

つき組での生活も残りわずかとなりました。こどもたちのさらなる成長を側で見守りながら、一緒に楽しく過ごしたいです。

つき組 竹内 和羅



にじ組になったばかりの頃、自分の身の回りの事が思うようにできず「できない!」と、涙がでる姿が多く見られていました。

日々の生活の中で、丁寧にやり方を伝えながら保育者と一緒にしたり「あーでもない」「こうでもない」と試行錯誤しながら自分でやろうとする姿を見守ったりするなかで、少しずつできる事が増えていきました。

「やった!できた!」を、友だちや保育者と一緒に喜びながら、取り組んだことで「自分でできる」という自信もついたようです。

服やズボンの着脱・自分で尿意を感じてトイレで排泄する・食器の片付けや帰りの準備など、自分のことを自分で、嬉しそうにしている姿を見て「大きくなったな～」と感じます。

にじ組 大森 航輝



にじのかけはし



戸外あそびへ向かうとき、自分で靴を履こうとするものの、なかなか履けない子がいました。自分でやってみようと頑張っていたので、見守っていた保育者ですが、隣で様子を見ていた友だちが、その子の目の前に座り、靴を履かせてあげようとしてきました。最後まで履かせることは難しかったのですが、困っている友だちを手伝おうとするその姿を見て、こどもたちの心の育ちを実感しました。

4月当初、何でも保育者にしてもらっていたこどもたちが、今では「自分でしたい!」「自分でできて嬉しい!」「友だちを手伝いたい!」など様々な気持ちが芽生え、自主的に行動することが増えました。また自分に困ったことがあると、「して」「手伝って」と保育者に伝える事も、できるようになり、身体だけでなく心も大きく成長した一年となりました。

ゆき組 土屋裕香



おはながわらった



4月、はな組が始まったころは、抱っこでミルクを飲んでいたり、立って歩き、自分で食事をし、言葉も少しずつできています。

友だちが持っている玩具を使いたい時は「ちょうだい」と言葉で伝えたり、「どうぞ」と玩具を渡したりと、友だちとの貸し借りや簡単な言葉でのやりとりする姿が見られるようになりました。

また、物の名前もよく覚えており指をさして物や人の名前を伝えようとしています。

人生で、一番成長が目に見えるこの時期、こどもの一つひとつの成長を、保護者の方と一緒に見守れたことを、嬉しく感じた一年でした。

はな組 玉置七彩

